

議会 だより

 **こがし
古河市**

第 **71** 号

令和4年6月1日
編集／議会だより編集委員会
発行／古河市議会
ホームページ

古河市議会

検索



議場に春を告げた花たち（令和4年3月 古河市議会本会議場にて）

令和4年 第1回定例会開催

第1回定例会は3月3日から3月18日までの16日間で開かれ、諮問2件、認定2件、議案40件について審議しました。また、初日に議員提出議案および動議が1件追加されました。3月10日、11日の2日間にわたり、一般会計予算特別委員会において一般会計、3月14日の特別会計・企業会計予算特別委員会において、10特別会計および水道事業会計、下水道事業会計の予算を審査しました。代表質問は3月15日に行われ、各会派の代表者が登壇し、一般質問は3月16日、17日の2日間行われ、9名の議員が登壇しました。最終日には議案2件の追加と、明日の古河市を創る特別委員会の報告がされました。請願2件については、3ページの請願一覧表のとおりとなりました。

令和4年第1回定例会 議決一覧表

議案番号等	件名	議決日	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	4.3.3	同意
諮問第2号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	4.3.3	同意
認定第1号	令和3年度古河市一般会計補正予算(第10号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	4.3.3	承認
認定第2号	令和3年度古河市一般会計補正予算(第11号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	4.3.3	承認
議案第1号	令和4年度古河市一般会計予算	4.3.18	原案可決
議案第2号	令和4年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	4.3.18	原案可決
議案第3号	令和4年度古河市国民健康保険特別会計(直診勘定)予算	4.3.18	原案可決
議案第4号	令和4年度古河市古河福祉の森診療所特別会計予算	4.3.18	原案可決
議案第5号	令和4年度古河市後期高齢者医療特別会計予算	4.3.18	原案可決
議案第6号	令和4年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	4.3.18	原案可決
議案第7号	令和4年度古河市農業集落排水事業特別会計予算	4.3.18	原案可決
議案第8号	令和4年度古河市ゴルフ場事業特別会計予算	4.3.18	原案可決
議案第9号	令和4年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計予算	4.3.18	原案可決
議案第10号	令和4年度古河市公共用地先行取得特別会計予算	4.3.18	原案可決
議案第11号	令和4年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計予算	4.3.18	原案可決
議案第12号	令和4年度古河市水道事業会計予算	4.3.18	原案可決
議案第13号	令和4年度古河市下水道事業会計予算	4.3.18	原案可決
議案第14号	古河市成果連動型民間委託契約方式第三者委員会設置条例の制定について	4.3.18	原案可決
議案第15号	古河市虐待・DV対策基本計画策定委員会設置条例の制定について	4.3.18	原案可決
議案第16号	古河市立小中学校適正規模・適正配置等審議会条例の制定について	4.3.18	原案可決
議案第17号	古河市個人情報保護条例の一部改正について	4.3.18	原案可決
議案第18号	古河市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	4.3.18	原案可決
議案第19号	古河市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	4.3.18	原案可決
議案第20号	古河市議会議員報酬等条例の一部改正について	4.3.18	原案可決
議案第21号	古河市職員の給与に関する条例の一部改正について	4.3.18	原案可決
議案第22号	古河市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	4.3.18	原案可決
議案第23号	古河市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	4.3.18	原案可決

議案番号等	件名	議決日	議決結果
議案第24号	古河市国民健康保険税条例の一部改正について	4.3.18	原案可決
議案第25号	古河市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	4.3.18	原案可決
議案第26号	民法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	4.3.18	原案可決
議案第27号	古河市ファミリー・サポート・センターの設置及び管理に関する条例の廃止について	4.3.18	原案可決
議案第28号	古河市内における太陽光発電設備設置に関する条例の一部改正について	4.3.18	原案可決
議案第29号	古河市下水道条例の一部改正について	4.3.18	原案可決
議案第30号	令和3年度古河市一般会計補正予算(第12号)	4.3.18	原案可決
議案第31号	令和3年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)	4.3.18	原案可決
議案第32号	令和3年度古河市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第3号)	4.3.18	原案可決
議案第33号	令和3年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算(第3号)	4.3.18	原案可決
議案第34号	令和3年度古河市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	4.3.18	原案可決
議案第35号	令和3年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)	4.3.18	原案可決
議案第36号	令和3年度古河市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	4.3.18	原案可決
議案第37号	令和3年度古河市古河駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	4.3.18	原案可決
議案第38号	令和3年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計補正予算(第2号)	4.3.18	原案可決
議案第39号	令和3年度古河市水道事業会計補正予算(第3号)	4.3.18	原案可決
議案第40号	令和3年度古河市下水道事業会計補正予算(第3号)	4.3.18	原案可決
議案第41号	古河市副市長の選任につき同意を求めることについて	4.3.18	同意
議案第42号	古河市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	4.3.18	同意
議員提出 議案第1号	ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議	4.3.3	原案可決
動議	議員秋庭繁君に対する懲罰動議	4.3.3	今定例会 の出席停止 (5日間)

請願一覧表

番号	件名	付託委員会	審議結果
令和4年 請願第1号	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書	総務常任委員会	不採択
令和4年 請願第2号	大堤南部土地地区画整理事業推進の請願	産業建設常任委員会	採択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市公明党			真政会					市民ベースの会					無党派					
	渡邊 澄夫	佐藤 泉	大島 信夫	鈴木 務	小森谷 博之	鈴木 隆	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見 久美子	渡辺 松男	黒川 輝男	赤坂 育男	青木 和夫	稲葉 貴大	園部 増治	落合 康之	増田 悟	倉持 健一	阿久津 佳子	長浜 音一	生沼 繁	小山 高正	古川 一美	秋庭 繁
認定第1号			○			-		○				○						○			○	○	×	
議案第1号			○			-		○				○						○			○	○	×	
議案第2号			○			-		○				○						○			○	○	×	
議案第5号			○			-		○				○						○			○	○	×	
議案第6号			○			-		○				○						○			○	○	×	
議案第7号			○			-		○				○						○			○	○	×	
議案第8号			○			-		○				○						○			○	○	×	
議案第9号			○			-		○				○						○			○	○	×	
議案第11号			○			-		○				○						○			○	○	×	
議案第12号			○			-		○				○						○			○	○	×	
議案第13号			○			-		○				○						○			○	○	×	
議案第21号			○			-		○				○			○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
議案第22号			○			-		○				○			○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
動議			○			-	○	欠	○	○		○			○	×	×	○	×	○	○	○	退	
令和4年 請願第1号			○			-		○				○			○	×	○	○	×	○	○	○	×	
令和4年 請願第2号			○			-		○				○			○	○	×	○	×	○	○	○	×	

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。 ※欠席議員は「欠」と表示。

※退席議員は「退」と表示。

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議

定例会初日の3月3日、ロシアによるウクライナ侵攻を受け、議員提出議案「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を提出し、全会一致をもって可決されました。

決議後、ウクライナの人々を支援するため、議員1人当たり1万円を寄付することに全議員が賛同し、3月22日、救援金24万円を日本赤十字社の「ウクライナ人道危機救援金」に寄託しました。

ロシアによるウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく損なう、断じて容認することができない暴挙であり、ウクライナに拠点を持つ日本企業をはじめ、現地在留邦人は緊迫した状況のなか、安否確認の対応に追われる等、厳しい状況におかれている。

このような力を背景とした、一方的な現状変更への試みは明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので断じて看過できない。

ここに古河市議会は、ロシアに対し、一連のウクライナへの軍事侵攻に厳重に抗議するものである。

政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図り、即時無条件でのロシア軍の完全撤退を求めるべきである。

以上、決議する。

令和4年3月3日

古河市議会

動議 「議員秋庭繁君に対する懲罰動議」

定例会初日の3月3日、秋庭繁議員に対する懲罰動議が佐藤泉議員ほか9名より提出され、所定の賛成者があり成立しました。懲罰特別委員会にて審査後、本会議で可決されました。

提出理由

令和4年第1回古河市議会定例会（3月3日）の認定第1号の討論において、認定の内容とかけ離れた発言を行い、議長において認定に沿った発言を行うように再三にわたり、注意をしたにも関わらず、発言をやめなかった。その行為は、議会運営を混乱させ、議会の品位や権威を貶めるものであり、古河市議会の信用失墜になる。

よって、議会として名誉のため懲罰を科されたい。

審議結果

可決 【本定例会の出席停止（5日間）】

※出席停止とは、本会議や委員会への出席を禁止することを指し、同時に議員としてのすべての権限の行使が停止される。

予算特別委員会開催



一般会計予算特別委員会



特別会計・企業会計予算特別委員会

令和4年度 一般会計、特別会計予算 総額 799 億 630 万円に

令和4年度一般会計、10特別会計および水道事業会計、下水道事業会計予算を慎重に審査するため、正副議長を除く全議員が一般会計予算特別委員会、特別会計・企業会計予算特別委員会に分かれ、3月10日、11日、14日の3日間にわたり、各会計予算の審査を行いました。

各会計予算額

(単位：千円)

会計別		令和4年度	令和3年度(当初)	比較
一般会計		50,700,000	49,500,000	1,200,000
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	14,056,000	13,685,000	371,000
	国民健康保険(直診勘定)	54,200	63,400	△9,200
	古河福祉の森診療所	126,900	139,100	△12,200
	後期高齢者医療	1,709,300	1,654,000	55,300
	介護保険(保険事業勘定)	11,065,000	11,057,000	8,000
	介護保険(介護サービス事業勘定) ^(※)	0	11,400	△11,400
	農業集落排水事業	804,600	827,400	△22,800
	ゴルフ場事業	91,000	91,000	0
	古河駅東部土地区画整理事業	1,215,000	957,100	257,900
	公共用地先行取得	14,300	18,300	△4,000
仁連地区新産業用地開発事業	70,000	979,100	△909,100	
合計		79,906,300	78,982,800	923,500

※介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計は、会計の再編により令和3年度をもって廃止となりました。

水道事業会計予算額

(単位：千円)

	令和4年度	令和3年度 (当初予算)
収益的収入	2,686,014	2,694,360
収益的支出	2,589,034	2,557,663
資本的収入	1,021,564	765,717
資本的支出	1,928,045	1,638,920

下水道事業会計予算額

(単位：千円)

	令和4年度	令和3年度 (当初予算)
収益的収入	3,314,943	3,194,886
収益的支出	3,306,839	3,184,714
資本的収入	1,155,695	1,179,254
資本的支出	2,098,501	2,127,893

令和4年度予算に対する各会派の意見

政友会

コロナウイルス感染症対策を最優先とし、安心・安全な市民生活を優先課題とした第2次古河市総合計画に基づく「まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり」の実現、少子化による人口減少に対し子育て支援の強化等、魅力あるまちづくりを期待できる予算であり、賛成する。

渡邊 澄夫	佐藤 泉
大島 信夫	鈴木 務
小森谷博之	鈴木 隆

古河市公明党

新型コロナ感染症の収束が見えない中、行政サービスの充実と市民の安心安全を優先した予算編成となった。当会派からの要望施策である①イングリッシュキャンプの充実②多機関協働による重層的支援事業③フレイル予防④ブロック塀の安全対策等が盛り込まれ、市民生活に密着した予算配分であり、予算に賛成する。

高橋 秀彰	佐藤 稔
鶴見久美子	渡辺 松男

真政会

令和4年度予算は、コロナ禍にあるものの、法人市民税などの大幅な回復により税収増が見込まれる。歳出では、コロナ対策に万全を期す予算となっており、地域共生社会の実現や健康増進、商工観光の振興、都市基盤整備、教育などあらゆる面で新規事業に取り組み、また、拡充するなどの工夫がみられるため賛成する。

黒川 輝男	赤坂 育男
青木 和夫	稲葉 貴大
園部 増治	

市民ベースの会

歳入は今後の税収微増見込みから自治体独自の方策が課題となる。ネーミングライツ事業において、修繕や維持管理も考慮した命名権設定や付加価値の創出を望む。

歳出は誰一人取り残さない取り組み（重層的支援体制）構築にあたり、狭間二ーズのアセスメントおよび横断的な事業取り組みを望む。

落合 康之	増田 悟
倉持 健一	阿久津佳子
長浜 音一	生沼 繁

会派に属さない議員

令和4年度予算は、昨年度同様のコロナウイルス感染症対策の他、歳入増の部分を適正に予算編成されていると考えるが、今後の補正では第7波への対策費の充実を望む。

小山 高正

重層的支援体制整備事業など評価できる。人材養成を強化し、丁寧で効果的な支援体制を期待する。総和地域交流センターの建て替えでは、幅広い市民の声を反映させるよう要望する。

古川 一美

新型コロナ感染症対策は、国・県の補助金活用で進められているが、県の筑西幹線道路建設および古河駅東部土地区画整理事業、新産業用地建設と開発優先の新年度予算に反対。

秋庭 繁

代表質問

各会派の代表者が市長の施政方針に対する代表質問をしました



真政会



(質問者：黒川 輝男 議員)

古河市の将来像「華のある都市(まち)古河」について

問 古河市の将来への基盤づくり、人づくり、モノづくりについて①官民連携のまちづくりプロジェクト推進をどのように進めるのか。②新駅誘致には、大堤南部の区画整理を進めなければならないが、さまざまな課題があり、大きく前進しない。どう進めていくのか。③ショッピングや公園、図書館、映画館な

ど家族そろって一日を過ごせる、にぎわいと安らぎのある拠点づくりをどのように進めるのか。④古河市の将来を担うグローバルな人材を輩出するため、教育文化の育成をどう進めていくのか。⑤各種事業の推進のために民間からの人材登用を図るべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答(市長) ①官民連携によるまちづくりは大変有効な手段である。民間事業者の意向等を把握する機会を増やして市へ関心を持ち、まちづくりへ協力いただけるよう取り組んでいく。②住民の意見を聞きながら、できるところから一步一步前進させ、新駅誘致および区画整理を含めたまちづくりの実現につながる

よう取り組んでいく。③官民連携を念頭に、法規制の対応や事業手法、民間資金の活用などさまざまな視点から検討し、進めていきたい。④グローバルな人材を輩出する意味でも英語教育が重要だと考えている。市では文部科学省より教育課程特例校の指定を受け、小学1年生から中学3年生まで切れ目のない英語教育を進めている。⑤内閣府の地方創生人材支援制度を活用し、民間企業で培われた経営感覚、スピード感覚を生かしながらまちづくりに取り組んでいける人材の登用を検討している。



古河市公明党



(質問者：高橋 秀彰 議員)

情報格差への対応等について

問 情報格差に対応する民間企業と連携したデジタル弱者への施策について伺うとともに、誰もが最低限度の情報通信技術(ICT)を活用できる環境を保障する「デジタル・ミニマム」の理念に基づく、誰一人取り残さないデジタル社会の実現が不可欠と考えるがどうか。

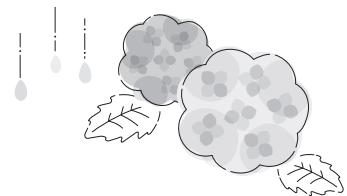
答(市長) 市のIT戦略プランにデジタル弱者に向けたスマホ講習会等の開催を盛り込んでいる。デジタル社会の恩恵を全ての市民が享受できるよう、デジタル・ミニマムの理念を踏まえ、施策を展開していく。

ヤングケアラー等を支える地域共生社会づくりについて

問 ヤングケアラー等を支える地域共生社会づくりのための実態調査の概要について伺うとともに、支援の手が、行き届くよう民間団体も含む関係機関が制度や分野の垣根を超えて連携する体制等について伺う。

答(市長) 国の実態調査報告では、市の実態は十分につかめて

いない。個別の事例を把握するため、市内小中学校の教職員等を対象とした独自の調査を検討している。また、官民協働の関係づくりを構築していくことが地域共生社会の実現に向けては重要であり、双方が意見交換できる機会をつくりたい。



《その他の質問》

- ・重層的支援体制整備事業について
- ・新たな子育て拠点施設の整備について
- ・新公会堂の再建について
- ・観光協会の法人化について



政友会

(質問者：佐藤 泉 議員)



スポーツのまち古河の推進について

問 古河市はスポーツ推進計画が策定され、スポーツのまち古河の復活を目指しているが、会派で古河市サッカー場を視察したところ施設の現状に唖然とした。外トイレは閉鎖中、階段のタイルは剥がれ、管理棟はカビだらけでシャワー室は水しか出ない、トイレは全て和室など大変な状況だった。そこで、管理棟を新設し、同時に夜間照明の

設置を提案する。予算上、大規模改修ができない場合は、管理棟のトイレを和式から洋式へ、雨漏り修繕、シャワーのお湯が出る工事などを提案する。また、市は中央運動公園をスポーツ施設の拠点として整備する方向性だと思うが、ここにスケートボードやボルダリングができる施設の設置を提案するがいかがか。

答 (市長) 古河市サッカー場は昭和57年に供用開始し、39年を経過した施設で、老朽化が顕著になっている。歴史あるスポーツのまち古河のシンボリック存在であった施設でもあり、利用者からの要望も踏まえ、先行してフィールド部分を人工芝に全面改修した。今後の取り組みとして、令和4年度に管理棟の防水

修繕工事を予定している。また1階トイレの洋式化およびエアコンの設置等については、利用者の意向を十分に踏まえながら、計画的に順次進めていきたい。

ボルダリングやスケートボード等のアーバンスポーツは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技種目に採用され、大変話題になり、手軽に親しめるスポーツとして普及が期待されている。市民のニーズを再検証し、実情に即した施設の在り方、設置場所等を含め、慎重に検討していきたい。



市民ベースの会

(質問者：落合 康之 議員)



市政運営の基本方針について

問 ICTコンソーシアム(情報技術共同体)は第4次産業革命とも言われ、暮らしや産業等さまざまな領域でICTによる変革が進む中、地方自治はもちろん、地域産業におけるICTの有効活用による経営課題の解決と競争力の向上、それを担う人材づくり、またICTを活用したアウトソーシングや働き

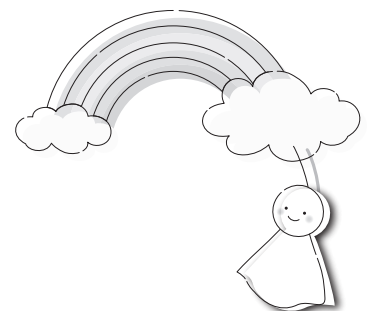
方の環境創出に向け、産官学民金連携により、情報交換や教育、研究、経済活動を行うことで、地域の活性化、相互の成長、発展が可能となる。

古河市においても当該事業は来年度で3年目を迎え、多くの事業運営に当たって産官学民金の連携が必要であると思うが、市長の御所見をお伺いする。

答 (市長) 効果的なICT活用には、民間企業や研究機関等との連携が大変有益と考え、古河市IT戦略プランの中に連携強化を盛り込んでいる。既に公共Wi-Fiの設置やテレワークの推進をし、効果が出ている。今後はデジタルデバイド^(※)対策等で官民連携が不可欠であり、

早急に連携に向けた協議を進めたいと考えている。将来的には研究機関や金融機関等との連携も視野に入れており、持続的で実効性の高い官民連携の仕組みと実践を目指す。

市においてICTコンソーシアムを早々に設立する計画はないが、市の現状に見合った官民連携の形を求め、効果的な取り組みを進めたい。



※デジタルデバイド…情報通信技術(ICT)の恩恵を受けることができる人とできない人の間にもたらされる格差

第1回
定例会

一般質問

第1回定例会の一般質問は、3月16日、17日の2日間行われ、9名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行部に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



鶴見 久美子 議員



フレイル予防の拡充について

問 フレイルとは、健康と要介護寝たきり状態の間を指し、心身的な衰え、心理・精神的な衰え、社会性の衰えの要素で構成される。健康的に生きる意欲につながり、社会性を維持しフレイル進行を防ぐには、家族や自治体、介護予防サービス職員などの支援が重要である。市としての支援拡充の取り組みについて伺う。

答（健康推進部長） 現在、フレイル予防のため各種講座等を実施し、後期高齢者健康診査ではフレイルの特徴の把握に努めている。来年度は、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業としての食生活改善健康教室を市内全域に拡大する。今後も関係課と連携し事業内容を充実させ、専門職等が高齢者の状況に応じた支援をすることで健康寿命の延伸につなげたい。



高齢者支援施策について

問 少子高齢化が進み、生きるために必要な意欲や能力を失い、日常生活に支障が出てしまい、ごみ出し困難世帯も増えてくる。高齢者等ごみ出し支援事業を導入すべきと考えるが、市としての課題と所見について伺う。

答（市民部長） 高齢等を理由としたごみ出しの相談は少ないが、他市町の状況から支援施策の必要性を認識している。引き続き福祉部門と連携し、福祉サービスの提供に至らない方たちを対象に既存制度の拡充や、地域住民との調整、ボランティアの周知等を進め、ごみ出し困難者が発生しないよう努めたい。



佐藤 稔 議員



「医療的ケア児」への支援策について

問 医療的ケア児は全国に約2万人いる。昨年6月に成立した支援法では、医療的ケア児とその家族に対する自治体の支援について、「努力義務」から「責務」となった。今後、保育所や学校などでは、ケア児の受け入れ支援体制の拡充が求められるが、市の考えを伺う。

答（福祉部長） 一部の保育施設で医療的ケア児を受け入れている。

る。課題は、看護師確保、保育士育成、施設の環境整備等で、保護者、医師、保育士等が連携し安全な保育を行う必要がある。

答（教育部長） 市内小中学校の体制は、特別教育支援員3名を配置、バリアフリー化済み7校、オストメイト対応トイレ設置済み2校である。個々の状況にあった支援提供のため、支援員確保、育成、施設整備に努めたい。

図柄入り「古河ナンバー」の取得申請について

問 地域の風景や観光資源を図柄にした、ご当地ナンバープレートは現在、全国58地域で交付されている。申請要件のハードルは高いものとするが、市独自で「古河」や「渡良瀬」などの取得申請を提案する。こ

の件について市の考えを伺う。

答（市長） 市単独での導入は困難である。圏域を越えた導入が実現可能か検証したい。

答（企画政策部長） ご当地ナンバーは市の魅力発信につながるが、市単独では導入基準に達しない。近隣市町との導入は課題もあり、情報収集し研究したい。



図柄入り「山形」ナンバー
(国土交通省ウェブサイトより)

＜その他の質問＞

- ・成年年齢引き下げと消費者教育について
- ・所有者不明土地の解消に向けた改正法について



阿久津 佳子 議員



賑わい創生について

問 古河駅前・周辺再開発、地域ブランド創造・観光資源の活性化、市民参画・協働、昼間人口増を見込むにあたりターゲットを女性目線にした方策や通年型イベント開催が必須である。各課題について所見を伺う。

答（副市長） 通年型イベント、地域ブランド創造による観光振興策は、民間事業者の観光ツーリズムが一部実施されている。

地域資源を活用した女性目線の魅力的な観光振興策を関係機関が一体となり検討する。

答（企画政策部長） 駅前と周辺再開発は、官民連携を視野に市の玄関口として魅力アップにつながる手法の検討を進めている。

答（産業部長） 古河市観光協会法人化に伴い、民間のアイデア、ネットワークを活用しイベントの集客や情報発信に努めていく。



埼玉県行田市の市民参加型
花手水（はなちょうず）

超高齢少子多死時代の備えについて

問 持続可能な社会構築に重層的支援体制整備が欠かせない。特に、多死社会・時代の課題として「在宅介護のみとり」「みとり難民の激増」に伴う在宅医療施設の増設、不足する社会資源の補完・補強や社会環境構築が急がれる。以上、所見を伺う。

答（市長） 県内初の重層的支援体制整備事業に鋭意取り組む。

答（福祉部長） みとり難民の対応は、市の基幹病院に在宅医療・介護連携支援センターを委託し、専門職や市民の相談体制をつくっている。在宅医療施設の増設は難しい課題だが、補助金等を活用し、支援を充実させる。



長浜 音一 議員



防災・減災体制の強化策

問 施政方針に「住民による自助・共助の定着および防災知識の向上を図り」とあるが、現状は、地域コミュニティや消防団等の体制に多くの課題を抱えている。「自助・共助」は、地域コミュニティの活性化には行政の連携・支援、防災知識の向上には自然災害メカニズムの学びが必要である。防災体制の現状と課題、今後の取り組み、防災知識の意義と向上策を伺う。

答（総務部長兼危機管理監） 市では地域防災計画に基づき防災体制を整えているが、予想被害の甚大さから水害を重視した体制となっている。市民にはハザードマップの理解とマイ・タイムラインの作成を呼びかけてきたが、課題は市民への啓発であり、引き続き周知に努めたい。市民の防災知識の向上は、自身の命を守るために必要であり、水防説明会や地域防災訓練などを実施している。

市民協働は行政運営の基本！

問 第Ⅱ期基本計画のアクションプラン21に市民参加のまちづくりとして「市政への参画機会の拡大」とあるが、現在進行中の政策・プロジェクトに生か

されているのか。また、産官学民連携と広範の分野の知恵を結集すべきと考えるがいかがか。

答（企画政策部長） 市では新たな計画策定や事業を立ち上げる過程において、適宜市民の意見を聞きながら進めている。

官民連携については、市と民間業者がそれぞれの強みを生かし、課題解決に当たれば、より高い都市の発展ができる効果があると考えている。住民の意向等も踏まえ取り組んでいく。



《その他の質問》

・都市基盤



小森谷 博之 議員



子育ての充実について

問 ファミリー・サポート・センター事業は、メインの施設サービス、託児サービスを今後どのように対応していくのか。

答（福祉部長） 市内15カ所の教育・保育施設の一時預かり保育、ファミリー・サポート・センターの相互支援事業で担っていく。昨年10月から施設概要や利用方法の周知をしている。



農業の振興について

問 人・農地プランについて、アンケートに答えていただけない方の農地はどうやって解決していくのか。

答（産業部長） 自治組織代表者や農業委員、農業関連機関等と連携を図り、行政区や大字単位の話合いで、今後の活用方法を確認することが必要と考える。

消防力の強化について

問 定数確保について、市町村長が学生消防団活動認証証明書

を交付する学生消防団活動認証制度で、就職活動の自己PRなどにできるものを提案する。

答（総務部長兼危機管理監） 市条例では18歳以上の者が団員になれる。先進地の事例を精査し内容や効果を研究して、実現の可能性を探りたい。

まちづくりについて

問 はなもも体育館周りの歩道の隆起は、安全確保の観点から、アスファルトに変更してはどうか。

答（教育部長） 利用者のニーズを把握し、安全に、安心して施設を利用できるよう迅速に対応する。



鈴木 務 議員



安心安全なまちづくりにおける 通学路の安全対策

問 昨年千葉県で起きた下校中の児童の列にトラックが突っ込む事故後、政府は再発防止には危険な通学路の改善が急務と判断した。①各学校からの危険箇所報告書について②交通安全ルール指導の取り組みは③不審者出没事件について伺う。

答（教育部長） ①新年度初めに各小中学校から報告を受け、危険箇所の現状把握と対応策を協

議している。②毎年、各校へ交通安全指導員を派遣し、古河警察署の協力の下、実技形式の交通安全教室を実施している。③令和3年度における小中学校からの不審者出没報告は、2月末現在で10件である。



地域住民による通学路の清掃活動

新たな産業用地計画の未来産業 基盤強化プロジェクトについて

問 ①予定地の決定と住民説明会の時期②事業主体はどこか③

面積が20ヘクタール前後となる根拠を伺う。

答（企画政策部長） ①開発予定地の決定は国が基本計画に同意したタイミングで考えている。住民説明会は国に基本計画を提出する段階で開催する予定である。②国、県の承認の下、市が企業を誘致し、企業自ら用地買収や工場施設の建設を進める。市でも事前説明や問い合わせを通じて、地元住民や関係地権者等への対応に当たる。③開発面積は、周辺農地への影響等を考慮し、まずは約20ヘクタールからのスタートを考えている。

《その他の質問》

- ・新型コロナウイルス感染症
- ・荒廃農地



秋庭 繁 議員



古河市の無料PCR検査について

問 無料検査の予算は720人分、6カ月で136人の利用は2割に満たない。市の無料PCR検査は使いづらいため、手続きを簡素化できないか。

答（健康推進部長） 手続きの簡素化は、医療機関の事務的負担が増加し、調整が必要なため、今後の課題としたい。

新型コロナウイルス感染症に対応した、施設・設備の改善を！

問 ①小中学校体育館のエアコン設置②公民館等の音響・映像設備等のデジタル対応機器の購入③古河市サッカー場のトイレ等の改善を求めるがいかがか。

答（教育部長） ①利用状況や財政状況等、総合的に判断し検討したい。②新旧機器の変換アダプターを貸し出しする対応を協議したい。③利用者の意向を踏まえ改修していく。



雨漏り等の改修予定の管理棟

ジェンダー平等を実現する古河市の計画について

問 国の働き方改革で、女性管理職を大幅に登用することになっているが、①針谷市長の決意について②市は、いつまでに女性管理職の割合を30%にするのか、具体的計画を伺う。

答（市長） ①性別にとらわれない適材適所の人材配置を行い、職員が仕事と家庭を両立し、それぞれの役割を果たす職場環境づくりを進めたい。

答（総務部長） ②令和3年度から令和7年度を計画期間とした古河市職員ワークライフバランス推進計画の中で、管理職に占める女性割合を30%と定めた。



小山 高正 議員



子育てについて

問 ①市内の病児病後児保育の現状を伺う②指定病児保育施設を新設し、病児保育の送迎システムを構築できないのか。

答（福祉部長） ①体調不良児対応型5カ所、そのうち1カ所は病児対応型も実施している。②病児の心身の負担等もあり、利用ニーズ、市内の人的、物的資源の活用を今後の研究課題としたい。

災害対策について

問 ①避難所の衛生対策としてトイレ清掃が重要であるが具体的な指針はあるのか②マンホールトイレについての所見を伺う③市民一人当たりの入浴頻度と仮設シャワー導入への所見を伺う。



答（総務部長兼危機管理監） ①避難所開設運営マニュアルにより避難者が協力して清掃を行う。②衛生管理上有効だが、下水道との連結が不可欠であり費用対

策を含め検討したい。③入浴は、数日に1回程度できるようにしたい。仮設シャワー室は費用対効果を考慮し導入を研究したい。

市民生活について

問 ①認知症の高齢者が起因の損害賠償事件について、民間保険を利用した救済制度の創設を求めるが所見を伺う②飼育している犬猫へマイクロチップの装着を希望した場合、市独自の助成はできないのか。

答（福祉部長） ①他自治体の取り組みや民間保険商品の情報収集を行い、よりよい方法を研究したい。

答（市民部長） ②他自治体の動向を確認し、研究したい。



古川 一美 議員



主権者教育について

問 コロナ禍で社会生活は急変し、国際情勢も激変している。今後厳しい社会を生き抜くためには自分の責任と意志で判断する力が求められる。主権者として社会に関心を持ち、主体的に行動できるための主権者教育が重要となる。①10代20代の投票率は②小中学校ではどのような主権者教育がされているか。

答（教育長） ②市では、児童生

徒が自分の課題を主体的に調べ、表現するという授業改革に取り組んでいる。

答（選挙管理委員会書記長） ①直近の参議院議員通常選挙では、10代が27.16%、20代は23.03%で、衆議院議員総選挙では、10代が40.12%、20代は29.54%だった。②出前講座や生徒会選挙への選挙備品貸し出し等を行っている。



部活動改革について

問 学校の働き方改革を踏まえ

た部活動改革が検討されている。少子化で部活動の数も少なくなっている。①どのような改革が検討されているか②他校との合同部活動は可能か③多様なスポーツ・文化活動の機会が失われないよう、子どもの視点にたった改革を求める。所見を伺う。

答（教育長） ③部活動は机上では身につけられない非認知能力の鍛錬の場であり、いろいろなところで活性化させたい。

答（教育部長） ①市では教育委員会内にワーキングチーム等を設置し、地域移行が図られるよう協議、検討していく。②週末などに合同練習し、大会に出場している部活動がある。

議会運営委員会でオンライン会議を開催しました

古河市議会では、感染症や大規模災害が発生した際に、オンラインで委員会等を開催できるよう、令和3年第4回定例会において、「古河市議会会議規則」および「古河市議会委員会条例」を一部改正しました。

それを受け、2月28日に開催された議会運営委員会では、災害が起きたことを想定し、一部の協議をオンライン会議に切り替えて実施しました。今後も有事に備え、模擬訓練等を行いながら、引き続き課題等の研究、検討をしていきます。



委員は別室で会議に参加しました



採決は挙手により行いました

議会報告会 YouTubeで配信中！

『市民に身近で開かれた議会づくり』
を目指した新たな取り組みとして、
議会の活動をオンラインで配信しています。

配信内容

- ◆古河市議会の概要・議会改革・コロナ対応
- ◆令和4年度各予算特別委員会報告
- ◆各常任委員会等の活動報告



議員からみなさまへの、
ひとことメッセージもあります。

議会の傍聴について

傍聴の際は、マスク着用を含む咳エチケットをお願いいたします。また、体調のすぐれない方（咳・発熱など）は、傍聴をお控えくださいますよう、ご協力をお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴者の人数を制限しております。インターネット中継等も行っておりますので、次ページの2次元コードよりご視聴ください。

第1回定例会の傍聴者数

本会議	35人
委員会（特別委員会）含む	12人
合計	47人

※傍聴者数は延べ人数

議員研修会を開催しました



去る2月18日、中村健氏(早稲田大学マニフェスト研究所)を講師に「住民から期待される議会～古河市議会の未来～」をテーマに、全議員参加のもと、議員研修会を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、リモートによる開催となりましたが、講師と意見を交わしながら研修しました。

議会生放送が始まります

令和4年第2回定例会より古河ケーブルテレビで、議会の生放送が始まります。

古河ケーブルテレビに加入している方は、ぜひ、リアルタイムでの議会の様子をご覧ください。

○生放送される範囲

- ・定例会初日の開会から市長報告(施政方針)まで
- ・一般質問(代表質問)

これまで通り、録画放送も行います。

ぜひ、ご覧ください！

(放送時間とチャンネルが変更されます)

◆◆◆ 令和4年 第2回定例会の会期予定 ◆◆◆

月 日	会 議	内 容
6月 7日(火)	本会議	開会、議案の説明
6月 8日(水)	休会	議案調査
6月 9日(木)	本会議	質疑、議案の委員会付託
6月10日(金)	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
6月13日(月)	常任委員会	文教厚生常任委員会
6月14日(火)	本会議	一般質問
6月15日(水)	本会議	一般質問
6月16日(木)	本会議	一般質問
6月17日(金)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

○時間は午前10時からの開催予定です。

○産業建設常任委員会は午前10時15分からの開催予定です。

※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

議会の様子・会議録
を見てみよう！

古河市議会ホームページ、または下記2次元コードからご覧になれます。



議会中継



会議録

編集後記

3月に開催された第1回定例会では、令和4年度各会計予算や議案等の審議、会派代表質問や一般質問が行われました。

新年度もスタートし、3回目のコロナワクチン接種が奏功し、早期に日常生活が戻ることを願っております。市民の皆さんの安心安全なまちづくりを推進するとともに、より見やすく親しんでいただける議会広報を目指して、努力してまいります。

副委員長 靄見 久美子

【議会だより編集委員会】

委員長 小森谷博之
副委員長 靄見久美子
委員 鈴木 務 稲葉 貴大
落合 康之 増田 悟

古河市議会事務局

古河市長谷町38番18号

☎0280-22-5111(代)